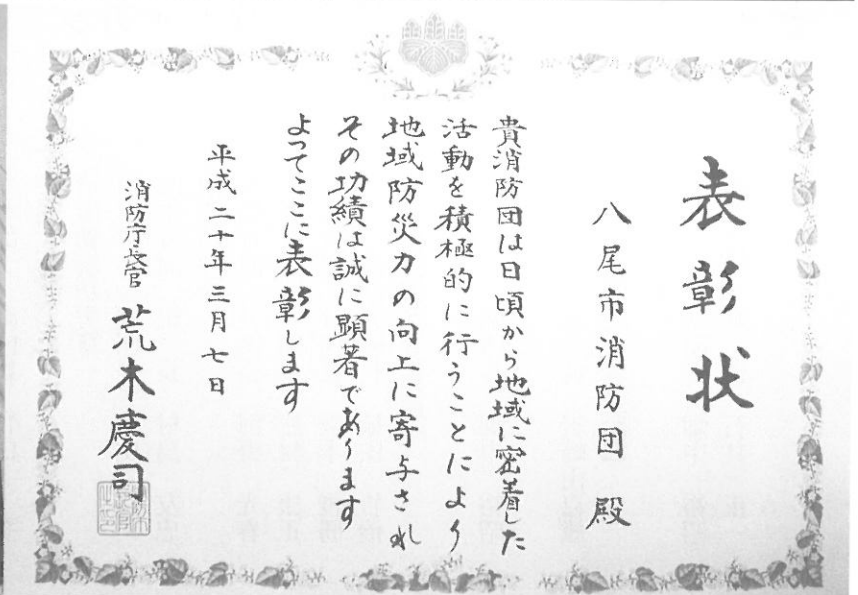


発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722

八尾市消防団 消防庁長官表彰受賞

自治体消防制度 60 周年記念式典 平成 20 年 3 月 7 日 日本武道館
において、平常時の消防団地域活動が評価され、全国の模範となる消防団
として八尾市消防団が受賞しました。



消防庁長官表彰受賞

 平常時の活動により、地域防
 災力の向上に寄与するとともに、
 地域住民の安心・安全の保持向上
 に顕著な功績があると評価され、
 全国の模範となる消防団として、
 八尾市消防団が消防庁長官表彰
 を受賞しました。

消防団員は、各自の職業に従
 事しながら火災等の災害発生に
 際し消防活動を行っています。

今回受賞しました、平常時の
 活動では、地域に密着した幅広
 い活動と機能強化が評価された
 ものです。

一人暮らしの高齢者宅訪問、地
 域イベント・祭礼における警戒、
 地元小学校の体験学習など、また
 防災訓練・林野火災訓練等の企
 画、立案や自主防災訓練実施の
 働きかけ、他府県消防団との交
 流、広報誌の定期発行、秋・春
 季火災予防運動期間中における
 予防広報など幅広い活動を行っ
 ています。

「安心・安全なまちづくり」を
 合言葉に、今後よりいっそう表
 彰に恥じないよう地域の防災意
 識の高揚に貢献していきたいと
 思います。

広報部一同

消防団の

更なる

発展を目指して



八尾市消防団長
小角 道男

平素、消防団の皆様には、それぞれのお仕事をされながら市民の安全を守るため、日夜献身的な活動を続けておられることに對し、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、本年は自治体消防発足60周年という記念すべき年であり、人生でいえば還暦の年、60通りある干支の組み合わせが一回りして、生まれた干支に戻る年を迎えたわけであり、

昭和23年12月に誕生した本市の消防団は、先輩諸氏をはじめ関係者のたゆまぬ努力の積み重ねにより大きな発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として、市民から大きな期待と信頼を寄せられています。

消防団は、地域住民の安全安心のため、求められるのは何でも、といてもいい程の幅広い活動を行っております。

地域におけるさまざまな課題に對して、地域全体が対応し解決を図っていくうえで、強く結束する消防団の存在は大きな意義を持つております。消防団がいきいきと活動し、地域に根付いている地域社会であつてこそ、住民が安心して暮らせる地域であると考えております。

一方、団員のサラリーマン化、高齢化などにより団員数の確保が非常に難しい現状がございますが、住民の安全安心のための消防団として、更なる発展を目指し、組織の充実強化の目標を掲げ、時間をかけてでもこれを実現するための努力を続ける決意をしているところであります。

どうか皆様には、本市消防団の充実強化の目標達成に向け、消防団の広報マンとして、また団員確保の推進役として引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。あいさついたします。

大阪府消防表彰式

平成20年3月23日(日)大阪府立青少年会館において、平成19年度大阪府消防表彰式が行われ、本市からも消防庁長官表彰をはじめとして多くの団員が栄えある表彰を受章されました。

【消防庁長官表彰】

○永年勤続功労章

団本部 副団長 竹口 登

【大阪府知事表彰】

○消防勤続功労章

団本部 副団長 奥田 庄司

山本分団 班長 村島 友忠

○消防功労章

西郡分団 分団長 河野 光春

南高安分団分団長 松村 康正

大正分団 分団長 阪本 俊勝

高安分団副分団長 植田 竹治

【日本消防協会会長表彰】

○精績章

団本部 副団長 畑中 裕昭

○勤続章

山本分団 班長 岩崎由喜雄

【大阪府消防協会会長表彰】

○永年勤続章

団本部 副団長 畑中 裕昭

山本分団 班長 石井 正一

○勤続章

志紀分団 分団長 西村 幸雄

久宝寺分団 分団長 藤本 哲也

西郡分団 副分団長 小笠原志一

高安分団 副分団長 辰己 勝彦

久宝寺分団副分団長 久田 義幸

○勤功章

志紀分団 副分団長 大窪 光一

南高安分団副分団長 坂上 節男

山本分団 副分団長 阪本 真人

志紀分団 副分団長 西村 敏昭

八尾分団 副分団長 橋本 修

志紀分団 副分団長 本田 稔

○精勤章

南高安分団副分団長 松浦 伸明

曙川分団 副分団長 松田 悦治

高安分団 副分団長 植野 勇

志紀分団 副分団長 上野 正己

南高安分団 副分団長 馬谷 隆喜

八尾分団 副分団長 川合 清隆

南高安分団 副分団長 寺川 寿彦

山本分団 副分団長 西川 政弘

高安分団 副分団長 寄山 政一

石井 昭氏

瑞宝単光章受章



昨年秋、元八尾市消防団志紀分団の石井昭さんが瑞宝単光章を、向井副団長が藍綬褒章を受章されました。

石井昭さんは昭和38年の入団から35年間消防団活動に取組んでこられ、退団された現在でもOB組織である大阪府消防協力会において防災活動に携わっておられます。

向井副団長は、昭和46年の入団以来36年間消防団活動に取組んでこられ、現在も副団長として活動、火災現場では先頭に立って指揮をとられています。

お二人の受章は、八尾市消防団全体の喜びであり、誇りであると思います。これからも、地

向井副団長

藍綬褒章受章



域を含めた幅広い防災活動にお力添えを頂き、我々も更なる消防団活動の発展に取組みたいと思います。

今回の受章、心よりお祝い申し上げます。

志紀分団 西村
山本分団 岩崎



消防出初式

平成20年1月14日(月)午前10時、大阪府中部広域防災拠点において消防職、団員、総勢412名、車両33台が参加し、八尾市消防出初式が挙行されました。

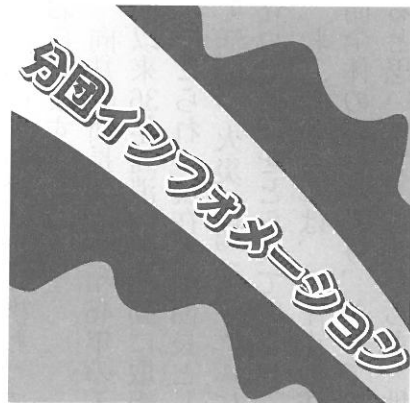
式典は大阪市消防局ヘリコプターの祝賀飛行を皮切りに消防音楽隊を先頭に消防職、団員、幼年消防クラブ員による行進及び自動車部隊の行進後、整列し国旗掲揚、殉職者に対する黙祷、そして市長より激励の言葉の後、地域防災に貢献した団員に市長、団長表彰が授与され、消防長より決意の言葉が述べられました。

最後に消防救助隊による訓練が披露され、職員、団員、幼年消防クラブ員による一斉放水で出初式は幕を閉じました。

短い時間でしたが観覧された方々に消防団という存在を感じて頂く良い機会になったのではないのでしょうか。

私達団員は、非常時の出場、そして日々の防災活動に心を新たにしたい一日となりました。

高安分団 西野



林野火災訓練

去る11月4日(日)、南高安分団では、消防署合同の林野火災訓練を市民の森東側林道にて実施しました。

訓練は、進入路にある障害物(樹木)をチェーンソーで伐採後、ジェットシューター隊が火点に向かい現場指揮者と消防ヘリコプターとの無線通信による情報収集と現場指揮統制を実施、林野火災用ポンプや各無線伝達など実戦的な訓練活動を行いました。

今後も防災活動はもとより、地域の様々な活動に参加、協力し、安全で住みやすい地域になるように努力していきたいと思えます。

南高安分団 杉田



春季消防総合訓練

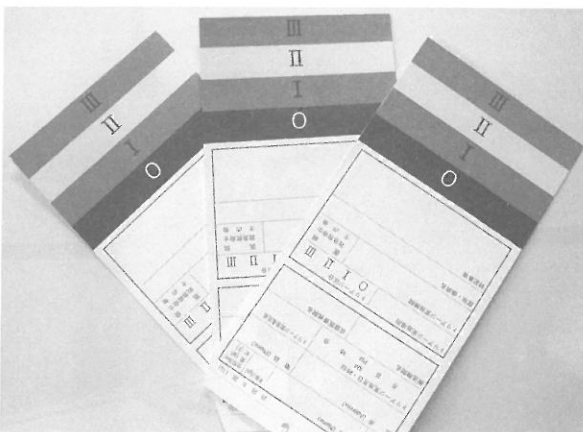
平成20年3月10日(日)西武百貨店八尾店にて消防署59名、八尾分団5名、施設関係者約100名、総勢約164名が参加し消防総合訓練が行われた。

訓練は開店前の9時20分から9時50分の間で行われ、店内での火災事故により要救助者が数名いるという想定のもと①救助隊による模擬シャッターの開放とインパルス銃での消火②団員による店内からの要救助者の避難誘導③救急隊による応急救護所(エアテント)の設営と救護

④ハシゴ車による上部階からの救出及び誘導担架搬送、今回の訓練ではいずれの要救助者にトリアージタグを使い救命順序を決めた。

トリアージ、最近では107名の死者を出した福知山線脱線事故で使われ、傷病者が圧倒的多数の場合はできる限り多くの人命を救助するために実施される。傷病者を観察し、緊急度や重症度を判断し治療や搬送の優先順位を決定するために行われるものであり、高い確率で人命を救助するためには必要である。

トリアージ、現場は心をいためることばではないか?



八尾分団 橋本

ポンプ取扱い訓練

平成20年3月16日(日)消防本部屋外訓練場にて、平成19年度のポンプ取扱い訓練が実施されました。

本年度においても、昨年度同様の内容で実施されましたが、団員各々がポンプ取扱いについて幅広く技術を身につけることを目的とし、消火栓の取扱いに始まり放水終了、機具の収納に至るまで本部の方々にご指導頂きました。

この訓練の内容を活かして実際の火災現場に出場した時は十分に発揮したいと思えます。



久宝寺分団 正脇 村上

文化財訓練

1月26日が文化財防火デーである事を、皆様はご存知でしょうか。本年八尾市では恩智神社におきまして、消防署と消防団による合同訓練を行いました。

恩智神社は木造で山間部に在る為に、迅速かつ的確な消火活動を行わなければ大火事に成りかねない故に、本番さながらに行われ、我々団員にとって大変有意義でありました。

我々の歴史や文化を宿す貴重な文化財を後世に遺していく為にも、このような訓練を毎年実施する事は、必要不可欠であると思われました。



南高安分団 小林

秋季消防総合訓練

平成19年11月8日(木)志紀駅前の医療法人清心会山本病院新本館において、消防署、消防団合同の総合訓練が実施されました。

参加人員は、消防署45名、消防団6名、山本病院関係者20名の計71名で、参加車両11台でした。

山本病院新本館の1階厨房から出火し、上階に延焼拡大中で、逃げ遅れた要救助者数名が各階で救助を求めているとの想定で行われました。

訓練は、山本病院関係者による通報、初期消火訓練に始まり、消防署、消防団による5階から梯子車による救出や避難誘導、担架での搬送及び応急処置が行われ、最後に一斉放水が実施されました。

この訓練を通して、高層ビル病院での、消火や、救出活動の難しさを実感し消防署、消防団、病院関係者による合同訓練の大切さを感じました。

曙川分団 織田

歳末特別警戒



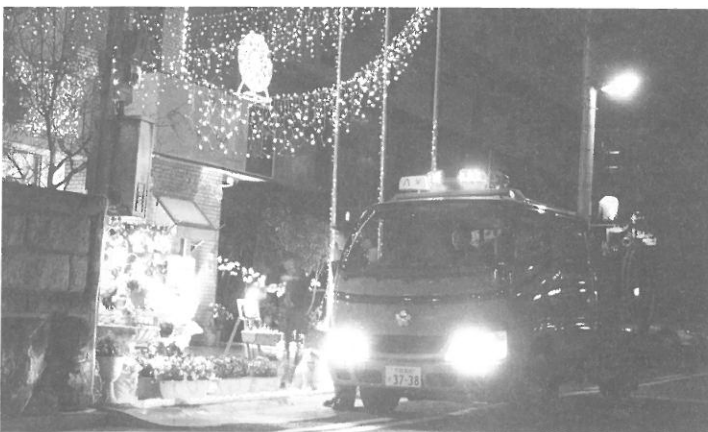
平成19年12月28日から30日の3日間、八尾市全域で歳末特別警戒が行われ各分団員は年末の忙しい中、夜遅くまで警戒活動を行いました。29日には八尾市消防団小角団長以下団本部の激励巡視がありました。

写真は八尾分団管轄内のアリオ八尾東側のメガネ店ですが、消防車で巡回パトロール中に店主より『ごくろうさまです』と声をかけられ写真を撮らせてもらいました。

最近、年末クリスマスシーズンになると電気による飾りつけ

をする建物が増え私たちの目を楽しませてもらっておりますが八尾分団の管轄内ではこのメガネ店の飾りつけが一番きれいだと思いますと言われております。店主は最近非常に治安が悪いので数年前より飾りつけをしているとのこととで今後まだまだ飾りつけを増やしていくと言っておられました。

われわれ消防団が年末警戒活動を行っていて、一般の方々よりの『ごくろうさま』の一言が一番の励みになりました。



八尾分団 川崎

名物団員

今回紹介させて頂くのは、大正分団の今仲部長です。

今仲さんは、大正時代からつづいている老舗の商店の四代目として不況の嵐の中、頑張っておられます。

また、消防団活動に於いても、木の本分隊に属し、大正分団の一番の長老で、大正分団の第四分団の時から人生の約四分の一を地域の為、ひいては八尾市の為に消防団員として活躍されてきました。入団して約20数年、世間では団塊の世代が退職されていますが、今仲さんも大正分団の構造改革の波におされて平成20年3月末をもって、同級生の三名と共に退団されます。しかし、今仲さんから引継ぎすればするほど、残された者にとっては不安に駆られます。それは地域の葬祭のほとんどを、今仲さん一人で対応していたからです。今後、残った者で対応していかなければならないという重圧でおしつぶされそうになります。そんな今仲さんを失うことは、大正分団にとって大損失ですが、残った団員で

協力しあい、今仲さんを心配させないように頑張ってくださいと思います。

最後になりましたが、また一人阪神・淡路大震災を経験した消防団員が退団します。東南海・南海地震に備え、残った団員は何が出来るかを考え行動しなくてはなりません。今仲さんが退団するまでの短い期間ではありますが、阪神大震災の経験を基に、一緒に考えて行きたいと思っています。今仲さん、長い間ご苦労様でした。



(年度末に退団する、左から辻井部長・今仲部長・川本部長のザッツ!!! スリーアミーゴス)

大正分団 南野

幹部視察研修

平成19年10月23日、消防の研修で丹波篠山自衛隊駐屯地の視察にて、新潟中越地方地震の映像を見て、自衛隊・警察・消防の活躍風景等々感動するものが多々あり、13年前の阪神淡路大震災の時、早朝より9時間かけて、現地にブルーシートを運搬したことが昨日のように蘇りました。この大震災の教訓をいかに、何が必要とされているか、ボランティアの方々とも協力し、復興支援を進めていかなければならないと思います。最後に、もしこのような事態がおければ、消防本部の指示に従い、消防団員一同行動し、活躍することを再確認しました。



西郡分団長 河野光春

平成19年度 消防団員指導員研修会

平成20年1月25日、大阪府立消防学校にて、大阪府全域の消防団の副団長、分団長、総勢97名の指導員研修会が開かれました。

この日の、最高気温は6度と低く、また小雪舞い散る中で、グラウンドにて訓練礼式の基礎や指導方法、そして合同で行進しながらの指揮の取り方などを学びました。

また教室では、吹田市消防団長による消防大学校での団長科の講演と救命講習の近年の変更点を教えていただきました。

一般市民の行う心臓蘇生法

	旧	新
観察	意識の有無	反応の有無
人工呼吸	1回1.5～2秒で2回連続吹き込む	1回1秒で2回連続吹き込む
循環のサイン	息・咳・体動を確認	確認しない正常呼吸がなければ心肺蘇生開始
用語の変更	心臓マッサージ	胸骨圧迫
部位の確認	肋骨下縁からなぞり確認 胸骨の下半分	胸の真ん中 両乳頭を結ぶ線の真ん中
深さ	3.5～5cm	4～5cm
比率	15:2	30:2
AED(除細動)実施後	循環のサインを確認	ただちに心肺蘇生を再開(2分間)2分後AEDの指示に従う

※ AEDの使用にあたっては、音声の案内のとおり操作すること。
(注:新基準に変更されていない機種もあります。)

曙川分団長 吉川公三

秋季厚生事業

平成19年度、八尾市消防団員厚生事業として、ボウリング大会が、八尾ボウルアローで行われました。

当日は、138名の団員が集結し、競技説明の時から、団員同士熱い火花を散らしながら、熱戦を繰り広げました。

結果は左記の通りです。

優勝	西郡	赤澤	一己
準優勝	団本部	角野	秀幸
第三位	大正	阪本	俊勝
第一一九位	大正	中川	憲一
B B	南高安	馬谷	英明
ハイゲーム196点	南高安	北本	晃史



大正分団 南野

山梨県甲府市消防団交流会とWEBサイト

平成19年10月13日、山梨県甲府市消防団東分団と八尾市消防団大正分団は、大阪市内のホテルにて交流会を開催しました。

なぜ、甲府市消防団と交流会を開催出来たかというところ、平成18年4月1日より大正分団WEBサイトを開設しており、サイトを通過し、北は北海道の旭川市消防団第一分団、南は大分県の日出町消防団、能登半島地震の被災地でもある、石川県門前町を管轄する、輪島市消防団門前分団等、日本各地の28の消防団と、相互リンクし情報交換しています。平成18年2月に、甲府市消防団東分団と情報交換を行っていた結果、八尾市消防団では初めての他府県消防の視察研修を開催することができました。別れ際には「次回は、大阪で」と固い握手で約束しました。その約束が、こんなに早く実現するとは思っていませんでしたが、決まったからには、有意義な交流会にするため、団員一同準備に余念がありませんでした。当日は、完璧なスケジュール

ルにのっとり、通天閣やNGK・法善寺横丁などを堪能してもらいました。

最後に、大正分団のWEBサイトが、八尾市の防災力向上のお役に立てれば幸いですし、これからも精進してまいりますので、御覧のほど宜しくお願いします。



http://www.geocities.jp/kfvc_higashi/
甲府市消防団東分団

http://www.osaka.zaq.jp/yaofvc_taisho/
八尾市消防団大正分団

大正分団 南野

消防団幹部候補 中央特別研修

去る2月17日より3日間、日本消防会館(東京・虎ノ門)で実施されました「第7回消防団幹部候補中央特別研修」(全国各都道府県より143名参加)に、消防本部及び、正・副団長のご推薦を頂き、中河内地区代表として、受講して参りました。

実質2日間程の限られた時間では御座いましたが、開講式に始まり、各講師をお招きしての「消防団実務」・「活動事例」・「消防団運営」・「予防」等の講義、そして、研修生を4班に分割しての「課題討議・発表」加えて、研修終了後も、時の経つのを忘れ、様々な話を肴に杯を酌み交わし・・・と、とても内容の濃い充実したものでありました。

この3日間で得た知識、仲間達との交流の経験を、単なる思い出だけに留めることなく、今後の団活動、八尾市消防団の発展の為に生かせるように、頑張ってくださいと思います。

久宝寺分団長 藤本 哲也

若なる会親睦旅行

消防団の幹部で構成する若なる会の親睦旅行を、平成20年2月2日から3日の一泊二日で行いました。

行き先は、伊勢志摩「神代の湯慶泉」です。

初日の昼食は、摩洞温泉清風荘でいただきました。洞窟の中に造られた座敷で振舞ってくださいました。

お腹も満たされ、二見ヶ浦の散策でしみじみと夫婦岩を眺め、心が清らかになりました。



昨年(19)の4月に志紀分団の分団長に就任し、今回初めて若なる会の懇親旅行に参加させていたただいて、人生いろいろあることを、初心に帰り再認識しました。

悠久の時間の中で他の幹部の方々と、大いに楽しみ大いに語り、親睦を深めることができました。有意義な2日間でした。

志紀分団長 西村幸雄

あなたは大丈夫?

平成19年11月10日、消防本部にて健康診断が実施されました。朝10時からの開始にもかかわらず、早くから多くの方が来られており、消防団員249人中144人が受診されました。

全体の診断結果から、多くの方が「生活習慣により改善される」項目に問題がありました。日々の生活習慣を見直し、改善しましょう。

また受診されていない方も是非受診するようにし、健康管理に役立てましょう。

八尾分団 岩崎

診断結果

○受診者	144名	(57.8%)
○受診者の内訳		
A -	2名	異常なし
B -	9名	有所見
H -	1名	要治療
C1 -	11名	生活注意
C2 -	50名	経過観察
H1 -	2名	要治療
C3 -	38名	要再検査
G -	28名	要精密検査
D -	3名	要治療
○所見別		
1 血中脂質	52名	
2 肝機能	23名	
3 血圧	39名	
4 血糖	9名	

防火フェスティバル

平成19年11月10日、八尾市立総合体育館「ウイング」にて、秋季火災予防運動の一環として防火フェスティバルが実施されました。

5つの保育園より構成される幼年消防クラブ員による元気いっぱいの入場行進から始まり、それぞれの保育園幼年消防クラブによる演技が披露されました。それぞれの園児達がかわいらしいコスチュームを身にまとい、工夫をこらしたすばらしい演技を披露し、多くの観客に火災予防を呼びかけていました。ちびっ子たちの一生懸命な演技を見て、消防団員としての使命を再認識する一日となりました。



八尾分団長 岩井孝男

広報部員名簿

委員長	山本分団	堤下富彦
副委員長	曙川分団	濱口知之
委員	志紀分団	西川知広
	久宝寺分団	正協勝博
	"	村上美勇
	西郡分団	吉田良紀
	"	中川弘和
	八尾分団	岩崎純司
	"	川崎孝一
	龍華分団	中家真司
	"	橋田滋基
	大正分団	乾田和仁
	"	南野直紀
	曙川分団	織田和彦
	南高安分団	辻野茂樹
	"	小林久晃
	"	杉田久晃
	高安分団	西野秀一
	"	中谷利巖
	山本分団	岩崎利雄
	志紀分団	西村輝彦

編集後記

皆様のおかげをもちまして、第21号を無事発刊することができました。次号も宜しくお願ひします。 堤下